

K018

- T: はい、えー、じゃあ、始めます。
 お願いします。
- I: はい、お願いします。
- T: はい、わたしは【T (姓・名)】と申します。
 お名前は？。
- I: 【I (名・姓)】と申します。
- T: あっ、【I (名・姓)】さま〈はい〉、はい。
 えっと、【I (名)】さんでよろしいですか？。
- I: あっ、はい。
- T: えっと、【I (名)】さんはどちらからいらっしゃいましたか？。
- I: あっ、わたくしはブラジルから参りました。
- T: あっ、そうですか。
 ブラジルのどこ、ですか？。
- I: ブラジルの、南の〈ええ、ええ〉方で、〈ええ、ええ〉【地名1】州という、…
- T: 【地名1】州、はい。
- I: 州がありまして〈ええ、ええ〉。
 その、まあ、ど田舎の所ですけど。
- T: あっ、そうなんですかー。
 あっ、はい、そこからいらっしゃって。
 いついらっしゃったんですか？。
- I: 初めて日本に来たのは〈うん〉、2003年の時に〈ええ、ええ、ええ〉、初めて【大学名1】大に来まして
 〈ええ〉、でそこ、その時に1年間過ごしました〈ふーん〉、そこで。
 で、ブラジルに一度帰って〈ええ〉、卒業してから〈ええ〉また日本にもど、もどて〔戻って〕きました。
- T: あーそうなんですか。
- I: 2006年ず、からずっと日本にいますので。
- T: あっそうですか。
 2006年から、大学で勉強、大学院で、…
- I: はい、大学院で。
- T: 勉強されている〈はい〉。
 わかりました。
 で、現在は、どちらにお住まいなんでしょう？。
- I: 今は、えっとー、【地名2】市の【地名3】という〈あっはい〉、はい。
- T: あっ、そうですかー。
- I: 【地名4】駅と、の近くです。
- T: あっ、わかりました。
 えっと、じゃあ、その、ご出身が、ブラジルの、南のほうの州〈はい〉という風に、あの一、言って、い
 られますけども、あの一、えーっと、それはどんな所ですか？。
- I: まー〈うん〉、ど田舎と言って、で、ブラジルのど田舎といたら〈{笑}〉、まあ、あの一、牛飼いの所が
 あって、牧場がいっぱいで〈ええ〉。
 で、もう、ほんとのねー、お、おばあちゃんの所が、ほんと、その、ほんの実家が〈ええ〉、えー、服、服
 屋さんでしたけど。
- T: よ、洋服屋さん？。
- I: 洋服屋さんで、はい。
- T: じゃあ、服を作るといことですか？。
- I: いえいえ、ただ売るだけで。
- T: あー〈はい〉、そうなんですかー。
 で、そちらにずっと、そちらで大学まで行かれたんですか？。
- I: 違いますよね〈はい、はい〉。
 僕はブラジルで〈はい〉、そこ、そこに生まれて〈ええ、ええ〉。
 で、もうなんか、すぐ生まれてから一、〈うん〉あの一【地名5】、…

K018

T: 【地名5】、はい。

I: という大きな都会がありますけど〈はい〉、あの一、それ、ブラジルの北のほうに〈ええ、ええ〉、赤道に近いですけど〈ええ、ええ、ええ〉、めちゃくちゃ暑くて〈はい、はい〉、あの一、アマゾンの〈ええ〉真ん中に〈うん〉。

そこで一、十年間ぐらい。

T: あっ、あっ、そうですか。

じゃあ一番長く住んだのはその【地名5】。

I: そうですね。

T: あっ、そうですかー。

I: 育ちが【地名5】で〈あ一〉、その後が〈ええ〉、あの一、また、またアマゾンで〈ええ〉【地名6】という大きな街もありまして〈は一〉、そこにもう、移住しまして〈ええ〉。

その後は、えーっと、【地名7】〈はい〉州の方の〈はい〉田舎の方に〈ふーん〉移住しまして、そこが、にん、ち、七年間ぐらいで。

T: あ一、そうですかー。

I: その後が【地名7】で〈ええ〉、学部有的时候に〈ええ、ええ、ええ〉いまして。

T: あっ、そうですかー。

I: うん、そっからが日本。

T: あ一、そうですかー。

わかりました。

じゃあ、まあ、ブラジルも色々な街を、…

I: そうですね、はい。

T: 見ていらっしゃると思うんですが、わたしは全くブラジル行った事がないんですが、ま、一言で、っていうか、ま、あの、紹介するとしたら、どんな国なんでしょう？。

あるいは、その、いた、イリオネ、デジャネイロ【【地名7】】で、にしろ、その、いた州にしろ、どんな、所なんでしょう？。

I: まあ一〈ええ〉、ブラジル〈ええ〉、ブラジルについて〈ええ〉、外国人が普通にブラジルのイメージ〈ええ〉を持つてるのは、まあ、結構、正しい方に、合ってる、合ってると思いますよ〈はあ〉。

サッカーの国で〈ええ、ええ、ええ、ええ〉、コーヒーよく飲む国で〈はい〉、そういう、イメージあるん〈ん一〉じゃないですか、まあ、一言で、で言えば〈ええ〉。

まあ、サッカーが、宗教っていう国〈{笑}〉、言えるんじゃないですか？。

T: そうですね。

あと、えーっと、すごく、おも、ラテン、の、なんかこう、性格とか、私のイメージでは…

I: あ一、熱狂が…

T: 熱狂的な…

I: はい、そうですね一。

T: 感じ、とか。

あとは一、お祭りが好きな、感じがするんですけども。

I: そうですね一。

毎年カーニバルの時に、もう〈ええ、ええ、ええ〉、街が、全体わいわいして〈ええ、はい〉。

でも一、僕が、なんか、個人的に、カーニバルがあんまり、好きじゃなくて。

T: えっ、そうなんですか？。

I: そうですね。

カーニバルの時には、まあ、逃げちゃいますよね。

い、いな〈えっ〉、田舎の方に行っちゃって〈は一〉。

うーん、ラッシュの**の逆に〈ふーん〉行って、はい。

T: カーニバルが嫌な理由というのは何でしょう？。

I: 人が多いですよ一〈あ一、はい〉。

あれ、半端なく人が多い。

T: あ一、そうなん、そうですか、そうですか。

観光客も来ますものね。

K018

- I : そうですよ。
- T : ええ。
わかりました。
えーっと、まあ、ブラジルはそういう国だと〈はい〉ということですが、じゃあ、あの、まあ4年、間くらい〈はい〉住んでる日本は、じゃあどんな、国、だという風な印象でしょうか？
- I : 日本はねえ〈ええ〉、やっぱり〈ええ〉来る前に〈ええ〉、子供の頃にそういう〈うん〉、あの、ヒーロー物あるじゃないですか、シリーズの〈はい〉特撮が〈はい〉。
あれをずっと見てたので〈ええ〉、ああいうイメージ持ってたんですけど〈ええ〉。
でも、日本に来てから、まあ、日本が、ヒーローの国ではなくて〈はい〉、なんか、牛丼食べる、電車乗る、そういう国じゃないかなと、っとイメージがあったんですよ〈ええ、ええ〉。
- T : ふつ、普通の国？
- I : そうですね。
- T : 牛丼食べる普通の国。
- I : はい。
- T : あっ、あっ、なるほど。
- I : 全然普通のほうに〈ええ、ええ、ええ〉。
で、人もいろいろで〈ええ〉。
日本人がこうだ、と〈ええ〉なんか、全然言えないんじゃないですかと思ったんです。
- T : そうですか〈はい〉。
あっ、じゃ、それまでのイメージっていうのはやっぱり、ヒーローだったんですか？
- I : ん、まあ、ヒーロー〈はい〉、まあ、ヒーローシリーズに出てる日本がイメージで〈はあ〉。
で、なんか、日本に、人が真面目で〈あー〉、だった、だったりとか〈ええ、ええ、ええ〉、そういうイメージがあったんで〈ええ〉、ので、でも、来てからはまあ、人が普通じゃないですか。
人がどこでも普通で。
- T : そうですねー〈はい〉。
すみません、もうちょっとその、ヒーロー、シリーズにある〈はい〉日本人のイメージというのを、ちょっと、あの、詳しく説明していただけますか？
- I : あっ、それは〈はい〉、あの一、まあ、ヒーローっていうイメージより〈ええ〉、あの一、ヒーローに出てたなんか、日本が〈ええ〉母体としてい〈ええ、ええ、ええ、ええ〉て、そ、あ一、ああいう〈はい〉イメージ、まあ、ああいう画像見て、まあ、こういう〈うん〉、みう、日本がこういう国じゃないかなと〈うん〉思ったんですよ〈うん〉。
なんか、まあ一、ただ、イメージ作りで〈うん〉、なんか、人が真面目で〈はい〉、ああいう母体におい、お、おかれて〈はい〉、そういうイメージ作ってましたね〈んー〉。
たんか、ヒーローと、って、言って〈ええ、ええ、ええ〉、多分なんか言い方がまずいかもしれないすけど。
- T : あっ、うん、ま、真面目の他にはどんなイメージがあったんですか？
- I : うーん、真面目で〈ええ〉頭が良くて〈ええ、ええ、ええ〉、そういうイメージじゃない。
- T : あー〈うーん〉、で来てみたら真面目でない。
- I : いや、真面目ではない人も、いま、いるんじゃないですか〈ええ、ええ、ええ、ええ〉。
それ、それでわかって〈ええ〉、じゃあ、人が、ブラジルの、と、同じように〈ええ〉、全然普通じゃないかなと思ったんですけど。
- T : あ一、そうですかー〈はい〉。
じゃあ、あの、特にこの4年間、なんか苦労なさったこととかは、なんか、もしあったら、教えてください。
- I : そうですねー〈ええ〉。
苦労っていう、まあ〈はい〉、個人的に、なんか、クリスマスの時が来ると〈ええ〉、なんか一、なんで日本にいるのか一、といういつも一、なんや振り返りみる、んなん、え、いつも考えさせるんで、で一〈はい〉、なんか、日本は、あの一、キリスト教の国ではないので〈はい〉、何か一、店が普通にやったり、人が、みんなが、普通に仕事に行ったりしてるので、で、そこがショックですよ、毎年が。
- T : あ一、そうですか〈うん〉。
つまり、宗教が違うことにショックを感じている。

K018

- I : 宗教ではなく、なんか〈はい〉、宗教につながってる、その〈ええ〉習慣が〈ええ、ええ、ええ〉、なんか、クリスマス時が、みんなが、休み、休みに入るので〈うん〉、なんか、仕事に行かなくてもいいし〈ええ、ええ、ええ〉で、学校に行かなくてもいいし〈うん〉、それでもう、なんや、ブラジルがそういう感じなんすけど〈ええ、ええ〉でも日本に来てから〈ええ〉、まー、日本が、僕が大学で、集中講義があるんすけど〈はい〉、24から27まで{笑}〈はい、はい〉集中講義があつて、〈はい〉なんでその集中講義に出なきゃいけないかなーといつも思っていましたよね。
- T : あーそうですか〈はい〉、わかりました。
じゃあ、まあ、その、えっと、まずは、その、えっと、宗教に関係したその、休み…
- I : はい、そうです。
- T : の取り方が違う。
他になんかありますか？。
- I : まあ〈ええ〉、い、色々ありますけどね。
- T : あっ、そうですかー。
- I : なんか、初めて来てから〈ええ〉、色々、ありますけど〈ええ、ええ〉、だんだん時間が、へって行って〈うん〉慣れてきちゃうので〈ええ、ええ〉、なんか言えなくなっちゃうんすよね。
- T : あっ、そうですねー。
- I : どこが変か、どこが〈ええ、ええ、ええ、ええ〉普通か、もうわからなくなっちゃうんで、はい。
でブラジルに帰るときに〈ええ〉、かえ、まあ、帰るたびに〈ええ〉、いつも、なんか、あー、ブラジルも変だなと思ってますよね。
- T : あー、そうですか。
それはあのやはり、他の留学生の方にも、共通に見られる現象なんではしょうか？。
- I : そうですね〈うん〉。
日本に来て〈うん〉、まあ、日本のところに慣れてきて〈ええ〉、で、ブラジルに帰っちゃって、なんか、みんなに、「どうも」と「すみません」、日本語のままに言ってしまいますし〈{笑}、ええ、ええ、ええ〉、そういう習慣がなくなるまでは〈ええ〉結構時間かかるから〈あー〉、まあ、僕も、どこの、どこの人かと〈ええ、ええ、ええ〉迷う〈ええ〉、迷わせることなんで〈ええ、ええ〉。
うん、そこが、まあ、大変ですよ、日本にいた、〈んー〉時間がたって、長年に、滞在して。
- T : ええ、まあ、でも中には、日本に暮らす外国の方で〈はい〉、なかなか、こう、日本の文化、の違いに、まあ、順応、しづらい方もいるとは思いますが〈はい〉、ま、じゃ、【I】さんは割りと慣れてきています。
何かコツのようなものはありますか？。
- I : 僕はねー〈ええ〉、なんか、いつも人は〈ええ〉、どこの国でも普通の人なんで〈ええ、ええ〉、なんか、悪い人も、い、いますし〈うん〉、いい人もいますから〈ええ、ええ〉、そう、それをもって〈うん〉、じゃあ、なんか、誰、誰きても〈うん〉、じゃあ、どんだ、どんな態度でも〈ええ〉、が普通の扱いに〈うん〉しようという、それがコツかはわかんないですけど〈ええ〉、そう、そう思いながら〈うん〉、おく、生活送ってますので〈ええ〉、はい。
- T : わかりました。
- I : あまりショックが起きてないんじゃないかなと。
- T : そうですか。
わかりました。
それはご自分の経験で、そう感じたんですか？。
それとも…
- I : そうですね。はい。
- T : あー、そうですか、わかりまし…
- I : で、やっぱりね〈うん〉、ブラジルの〈ええ〉の時にも〈ええ〉、あの一、ずっと色々な所に住んでたので〈ふーん〉、で、やっぱり、なんか、実家に帰っても〈はい〉、実家に住んだことはな、なかったから〈あー〉。
一年も住んだことはないので〈んー〉、実家に帰っても、じゃあ、なんか、あの、出身といっても出身地といっても〈んー〉、全然地元の人じゃないっていう感じで〈ふーん〉、僕は、そういう一、気持ちでずーっと送ってきてるんで〈ええ〉、日本に来ててもそういう、そういう感じじゃないんすかなーと、思ってますね。
- T : はー、わかりました。

K018

今ご専攻は何なんですか？

I：今はねー、…

T：あっ、そうなんですかー。

I：えー、なんて言うんだらう、地域研究科の中で〈はい〉、まあ、自分の専門が日本史、やってる、ます、けど、日本とポルトガルの、交渉、歴史やってますけど。

T：そうですかー〈はい〉。

わかりました。

えーっと、まあ、じゃあ、それで、集中講義が、な、冬にあると、で、その後なにかお正月休み日本でありますけど、国に帰ることはありますか？。

I：ないですよ。

T：あー、そうですか。

I：はい。

今年が円高のせいで〈ええ〉、不況のほう…

T：ああ、ああ、そうですかー〈はい〉。

あの一、やはり、ブラジルと一、あの、その、ブラジルで使ってる通貨と〈はい〉円の、格差、やはり、すごく広がってしまった。

I：そうですよね。

T：あーそうですか〈はい〉。

あの、まあ、日本でも今、不況という感じで〈はい〉、就職の内定取り消しとか色々〈はい〉ありますけど、そういうの見てどう思われますか？。

I：いやー〈うん〉、日本が不況といっても〈ええ〉、今不況といっても〈ええ、ええ〉、ずっと、なんあ、バブルの崩壊から〈ええ、ええ、ええ〉ずっと不況じゃないですか〈ええ、ええ、ええ〉。

うーん、だからなんか、何で〈うーん〉今が、違うか、ちょっとわかんないんですよ〈うん、うん、うん、うん〉、正直ゆうと〈ええ〉。

何で今がわかん、違うかわかんないんですね。

T：あー、そうですね〈はい〉、なるほどー。

じゃあ、あまり今ご自身がいて〈ええ〉、こう感じることはない。

I：いやー〈ええ〉、特に、なんか〈ええ、ええ〉、自分の生活には全然〈ええ、ええ、ええ〉影、直接的な影響が〈ええ〉起きてないので〈はい〉、はい。

そこだけですよね。

なんか〈うん〉、帰りたくても〈うん〉全然帰れない…

T：そこが…

I：ところが。

T：わかりました。

I：そこだけなんで、はい。

T：じゃ、翻って、今度ブラジルのほうはなにか、あの、今回、な、例えば経済危機、世界的な経済危機なにか影響は、あの一、及ばされているのでしょうか？。

I：まあ〈はい〉、それは〈はい〉、あの一、全部の、ゆー、なんだろう〈ええ〉、にゆう、輸入物〈ええ、ええ〉、輸入品〈ええ、ええ、ええ〉、輸入品が、全部が、あの、道路の〈うん〉、**で〈んー〉、全部が、値段がダブっちゃったんですよ〈んー〉、うん。

かける2になっちゃって〈ええ、ええ〉。

今が、なんか、輸入品が全く買えなくなっちゃったし〈ええ、ええ、ええ、ええ〉。

うーん、それが、ちょっと、難しくなってますよね、向こうが。

T：あー、そうですか〈はい〉。

あの一、そうした、あの一、ちょっと、経済的な〈はい〉、あの、何か問題が社会的な問題に広がったりとかいう、ニュースとかは入ってくるん、ですか？。

I：まあ、たまに〈ええ、ええ〉見てるのは〈ええ〉、あの一、失業者の数が〈ええ、ええ〉増えてるし〈あー〉、それでも、なんか、ブラジルが一〈ええ、ええ〉、あー、なんか、自立態度をとって〈ええ〉、あまり影響を受けていないと〈んー〉、口で言ってるんですけど、でもやっぱりね、なんか、中国のように〈うん〉ロシアのように〈ええ〉、インドのように、受けてるんじゃないかなと、思わせるんですよ〈んー〉、ニュース見

K018

たら、はい。

T: そうですか。

わかりました。

えーと、じゃ、まあ、ちょっと話を変わらして〈はい〉、ご趣味はなんでしょう？。

I: 趣味といたら〈はい〉、音楽ですよ（あー）。

音楽と、インターネットでビデオみたりとか、することですよ。

T: あー、そうですか〈はい〉。

あの、さっき、あに、アニメですか、特撮ヒーローが好きといたんですけど…

I: あー、特撮ですよ。

T: はい、特撮、はい、…

I: 特撮ヒーローが…

T: すいません〈はい〉。

好きといたしましたが、あの、こちらでもなんか色々見てるんですか？。

I: こっちに来てから〈はい〉、あの一、何で、日曜日の朝早く〈はい〉流してるかわかんなくて〈はい〉、それが見え、見れないじゃないですか。

なんか〈あー〉、あ、日曜日の、8時ぐらい〈ええ、ええ、ええ、ええ、ええ、ええ〉、7時ぐらい、そのそれ、その時間は起きてないから〈はい〉全然見てないですよ、日本、日本に来てから。

T: あー、そうですかー。

I: それはブラジルでも、なんか、見てなかったから〈んー〉、なんか、子供のこ、頃だけで〈あつ、ああ、ああ〉見てたので、はい。

T: あーそうですか。

わかりました。

ふーん、最近の、なんか、ちょっと、日本の社会とかで、気になる問題とか、ありますか？。

I: いやー〈んー〉、まあ、今ぱっと出てきたんす〈ええ〉けど、あの一、紅白歌合戦がは、今年初めて〈{笑}〉見るんじゃないかな、と思うとですね。

T: そうなんですか〈はい〉。

つまり、ずっと日本に、で年越しをしていなかったということですか？。

I: そうですね、はい。

T: あつ、そうですか。

なにか、お正月は、誰か、友人のところとか行ったりするんですか？。

I: それは、まだ一〈ええ、ええ、ええ〉計画立ってないすけど〈ええ〉、今一、考えてるのは一、なんか、来週のクリスマスはどうしようかと考えてますけどね。

T: あつ、そうですかー。

I: そこのほうの方に〈んー〉気がいってますんで〈んー〉、正月はまだ考えてないですよ。

T: あー、そうですか。

わかりました。

えーっと、あの一、今日本人の、あの、大学生と一緒に〈はい〉、あの、授業なんかも出ら、出ているんですか？。

I: あー、出ってます、はい〈んー〉。

学部〈ええ〉生たちと。

T: あー、そうですか。

なんか、最近、よく新聞とか、では、日本の若者は、ちょっと、なん、なっておらん、みたいなような、ちょっと〈あー〉、見方もありますけれども〈はい〉、あの一、どうですか、実際に接してみて？。

ブラジルの若者と違いますか？。

I: いや、若者〈ええ、ええ〉というより〈あつ、はい〉、なんか、学部生たちがね〈ええ〉、あの一、ブラジル、で〈うん〉、僕は歴史学部〈ええ、ええ〉出身ですので、なんか歴史、学部が〈うん〉、何か、みんながなんか、頭よさそう、に見えるようにやってるから〈はい〉、あの一、まあ、***から子供の態度とらないようにしてね。

でも、日本に来てから、あの一、みんなが、ちょっと、なんか、あー、はじ、初めて、初めて来たときに〈んー〉、なんか、馬鹿に見えるなーと思ったんすけど。

K018

- T: あっ、そうですかー。
- I: はい。いま全然なれてきたんすけど。
- T: あっ、そうですかー。
- I: はい。
でも子供っぽいってところが多かったですよね。
- T: あー、子供っぽいっていうのは外見から来る印象ですか？。
- I: 外見も、しかもなんかー、自分の意見もー、ね〈あー〉。
で、社会に対して全然〈はい〉興味が無いところも〈ええ〉あるんじゃないすか〈はい〉。
それが、はい、子供っぽいと思ったんですよ。
- T: あっ、そうですかー。
なぜ子供っぽいと思われませんか？。
- I: まあ、多分〈うん〉、なんか、自分の経験と比べて〈うん〉、なんか、ブラジルの方で、皆が〈ええ〉、あの一、早く大人になろうと〈ええ、ええ、ええ〉としてるから〈うん〉、で、え、大学に入ってから、もう大人だって〈ええ〉ということ決まって、で、皆が大人っぽく〈うん〉見られるようにしてるので。
でもこっちに来て〈ええ〉、なんか、全然そういう努力がないから〈あー〉、なんか、もう、大学といっても、高校の延長〈うーん〉期みたいな感じ、なってますよね。
- T: んー、そうですか。
それを変えるためには何か、どうすればいいとお考えですか？。
もし【I】さんが、えーっと、そういう、何か大学の、結構えらい権力をもってる、人だとして〈うーん〉、何か、今の学生を、少し変えたい、意識を変えたいと…
- I: いや、それ、なんか、が、が〈ええ〉、学長になっても全然変えられないんじゃないかと思うんすよね。
- T: あー、そうですかー。
- I: それが文化の問題と思って、、、はい。
- T: 文化、なるほどー。
- I: はい。
もう〈ええ、ええ〉、大きい、問題なんで〈うーん〉それ学長になっても全然変わらないと思う。
- T: あっ、わかりました〈はい〉。
でも、それをもし、じえ、変えるとしたら、学長じゃなくても。
すいません、ちょっと考えて…
- I: じゃあ、神様になったら {笑}。
- T: 神様になったら、はい。
- I: いやー〈んー〉、そこはねー、分からないですよ、ほんとに〈あー〉。
ほんとに分かりません。
- T: あー、そうですかー。
わかりました、ふんふん。
あの、でも、逆にですね、最近〈はい〉、まあ、わたしも聞きかじった知識ですが〈はい〉、ヨーロッパとか〈はい〉アメリカの方が、今度は逆にそうした日本のちょっと子供っぽい〈はい〉アニメの文化に〈あっ〉、を、逆にクール〈はい〉って思う〈はい、はい〉ような現象がありますけど、それについてはどうお考えですか？。
- I: あー、そうですよね〈ええ〉。
ブラジル、僕が、なんか、ヨーロッパとアメリカに行ったことないんすけど。
- T: あっ、つ、私もないんですけど {笑}。
- I: あっ、もう、ブラジルのほうで〈ええ〉、アニメと漫画を気に入ってる〈ええ〉人々が〈ええ〉、まあ、僕にとってはなんか馬鹿に見られる、見、見てるなーと〈あー〉。
なんか、オタク〈ええ〉になって〈ええ〉、それで、なんか、子供っぽい〈うん〉感じにみ、子供っぽい感じで〈はい〉続けようとしてるから…
- T: {何か音が出る} すみません、はい。
- I: のが、僕から見ても、なんか〈んー〉、あー、馬鹿な、といつも思ってますよね。
- T: あー、そうですか。
- I: うん〈うん〉。

K018

なんか、アニメと漫画が〈ええ〉すごく人気があっても〈うん〉、僕の世代に来てなんか、20歳を超えてる〈うん〉人たちが、まー、そういうところにいたら〈うん〉、なーんか変だなーと思われます〈うん〉よね。

T: あー、そうですか〈はい〉。

でも、それを、た、例えば、こう、新しい、そうした〈はい〉、まあ、子供っぽい〈はい〉ところに何かこう可愛い、何か、深いものをみる新しい感覚、という風には全くお考えにならない。

やはり…

I: 考えてないですよ（あー）、やっぱり〈ええ、ええ〉。

日本に来て〈ええ、ええ〉、あの一、漫画とアニメが〈ええ〉子供向け、けどはないと…

T: そうなんですよ。

I: わかったんですけど〈ええ、ええ、ええ〉。

でも、ブラジルで、もう〈うん〉、ぞう、ずっと〈うん〉その、アメリカの一〈うん〉アニメ見たら〈うん〉、あと普通の一〈うん〉漫画という〈ええ〉、言えるかな、まあ、日本の漫画じゃないんですけど〈うん〉、アメリカの漫画とかブラジルの漫画とか見たら〈うん〉、あれが全部が、子供向けなので〈うん〉、ま、子供文化と〈うん〉あれ、漫画とアニメが〈ええ〉イコール〈ええ〉子供文化なので〈ええ〉、そういうイメージが変わるのは、難しいんじゃないかな、と思ってますよね。

T: なるほど。

でも、結構最近、人気が出てるわけですよ？。

I: そうですよね。

ものすごく〈うん〉人気ですよ。

T: どうしてだと思ひ、われますか、んー？。

I: いやー {笑} 〈{笑}〉、それがねー、なんか、十数年前に〈ええ〉、ボムになって〈ええ〉、ボムなんかやっぱり、もちろん、なんか、子供のときに、特撮のこ〈ええ〉のシリーズをみて、あれでも人気だったんですけど、でも、94年ぐらいで〈うん〉、あの一、セントセイヤがあるじゃないすか〈はい〉、アニメの〈はい〉。

セントセイヤが、あれがボムになって〈ええ〉、僕が10、2、3歳〈うん〉だったんですけど、で、そっからずーっとボムやってますよね〈うん〉。

全然終わらないすよ、あれは〈うん〉。

なぜ変わらないか、分かんないですよ（あー）。

で、なんで、なんか、二十歳、21歳22歳たっても、全然ああいうこと、飽きないのかわかんないすよね〈んー〉。

なんか、多分一、なんか一、自分の一、大人達で、社会、社会にたい、対して、で、そういう、なんか、責任を、取らない、感覚があるんじゃないかなー、そこにもつながりがあると思ひますよね〈はい〉。

そうすると、なんか、子供の〈ええ〉ままに〈ええ〉いこうとしてるんじゃないかと思ひますよね。

T: じゃ、逆に〈はい〉ブラジルが少しそうした日本の子供文化のようなものが少し浸透しつつあるということですか？。

I: そうですよね〈あー〉、はい。

T: で、【I】さんは、それはあんまりいいと思わない。

I: 思わない〈んー〉ですね、はい。

T: じゃ、ちょっと、その、変わりつつある〈はい〉 {笑}、ブラジルの若者を〈はい〉、じゃあ、こう、また、元に戻す、ためにはどうしたらいいとお考えですか？。

I: {笑}、そこはねー〈ええ〉。

いやー、わかんないですよ。

わ、なんで、あんなわけかんない、事やってんのかわかんないですよ（あー）。

なんでコスプレやろうかもわからないし〈ええ、ええ、ええ、ええ〉。

わかんないですよ。

T: あー、そうですかー。

I: うん〈んー〉。

自分ないから変えられるかと〈んー〉も思わないので、わかりません。

T: あー、はい、わかりました。

えっと、現在、なにか、あの、課外活動とかはしてるんですか？。

I: 課外活動すか。

K018

- T: はい。
勉強のほかに、アルバイトですとか。
- I: あー、それは、アルバイトやっていますけど。
あの一、…
- T: あー、そうですか。
どんな？。
- I: 【企業名】で〈ええ、ええ、ええ〉、【企業名】で、あの一、あれですよ、アナウンサー〈あつ、はい〉のラジオのアナウンサーの方ですけど〈ええ〉、ポルトガル語で〈はい〉、あー、毎週、1回〈はい〉、あそこに行つて〈ええ〉、で、一つのニュース番組を〈ええ〉、生、中継でやつて〈はい〉、で、午後のほうに、あのバラエティの番組を撮つて〈は一〉、帰るんすけど。
- T: あーそうですか〈はい〉。
んー、え、じゃあ、そういうニュースとかではよく何かゲストの方とか、そーいの招いたりとか。
- I: あー、全然ないですよ。
- T: そして、バラエティーはどんなことするんですか？。
- I: バラエティーは一〈ええ〉、ふつうに、今、今やつてるのは、あの一、日本についてのシリーズなんすけど、あの一、日本、なんだっけ〈んー〉、日本、のQ&Aつというシリーズがあつて〈はい〉、それが、なんか、あの一、視聴者の方たちが〈ふーん〉、あの一、なんか、日本についての質問を送られて〈ふーん〉、その質問を答える、つてこと、なんすけど。
でも、わたくし達は、あの一、パイタムで、全然そういうテキストを〈ええ〉作つてないし〈ええ〉、ただ読むなんで〈ふーん〉。
で、英語から翻訳して〈ええ〉、読むなん、読む仕事なのから、あの一、自分一、にとつて、なんか、あまり、賛成できない内容もたまに来ますしー。
- T: あー、そうですか。
- I: はい。
- T: でも、すると、お仕事ですから。
- I: でもしますよね {笑}。
はい、仕事ですから。
- T: あー、そうですか。
はい、わかりました。
では、ちょっと、ここで〈はい〉ミニドラマをしようと思います。
じゃあ、ま、お仕事ですので〈はい〉、えー、気が進まないかとは思うんですが〈はい〉、私は漫画家です〈はい〉。
漫画家の【T】です〈はい〉。
で、最近、まあ、日本で、海外でも日本の漫画が人気〈はい〉、ということで、ま、あえて、【企業名】のラジオでも〈はい〉、あの、漫画家の【T】さんとっても人気なんですね〈あつ、はい〉、私を、ちょっと、その、ラジオの放送の、バラエティーに呼ぶ〈はい〉、ゲストとして呼ぶ、ということで〈はい〉、わたしの一、まあ、作業しているオフィスに〈はい〉、んー、来ていただけないでしょうか〈はい〉。
それで、私をゲストとしてそのラジオ番組に呼びたい、と交渉していただけないでしょうか？。
- I: あつ、つ、はいはいはい。
- T: はい。
- I: あー。
- T: はい。
- I: じゃあ、どうしますか。
あつ、すいません。
- T: あつ、はい、どうぞー。
- I: 失礼します〈あつ〉。
あの、私の、か、れ、【企業名】〈はい〉の【I】と申しますが。
- T: あつ、はい、こんにちは。
- I: こんにちは。
- T: わたくしたちは一〈ええ〉、あの一、【企業名】のほうで〈ええ〉、ラジオ番組をやつておりました〈ええ〉、

K018

ええ) あそこ一, で, あの, 出演さして 〈はい〉 下さる 〈はい〉 ように 〈はい〉, お願い, もう, お願いしたいんすけれども 〈はい〉。

どうでしょうか, と?。

T: あ一, そうですか 〈はい〉。

え一っと, それはいつですか?。

I: あのー, それはー 〈はい〉, 来月の 〈はい〉, まあ, 25日, …

T: あっ, そうですかー。

I: ぐらいですけど, はい。

T: 25日。

あっ, あの大丈夫ですけど, 時間は空いてますけど, わたしでいいんですか?。

I: あ一, 是非 〈はい〉 よろしくお願ひします。

T: あっ, そうですか 〈はい〉。

わかりました。

大体時間はどのくらい…

I: 時間は, まあ 〈うん〉, 30分ぐらいも…

T: 30分も 〈はい〉。

大丈夫ですかね。

わたし, しゃべるの苦手なんですけど。

I: あ一, いえいえ大丈夫です。

T: あっ, そうですかー。

I: もう, 原稿作ってますから {笑}。

T: あ一, そうですか。

原稿 {笑}。

わかりました。

I: 台本読むだけなんで {笑}。

T: あっ, はい, わかりました。

じゃあ, あの, ええ, お任せして 〈はい〉。

がんばって, あの, 参加させていただきます。

I: はい, よろしくお願ひします。

T: よろしくお願ひしま。

じゃあ, 詳しいことは, まあ, メール等で 〈はい〉 ご連絡いただければと思いますので。

I: はい。

T: はい, よろしくお願ひします。

I: よろしくお願ひします。

T: あっ, ありがとうございます。

では, ミニドラマ, ツーなんですけれども 〈はい〉, 今度は, じゃあ, あの, すごく仲のいい, よく飲みに行ったりするような友達 〈はい〉 いますか?

I: はい。

T: で, えっとじゃあ, 日本人でもいますか?。

I: はい。

T: じゃあ, その人の名前は…

I: んー, 誰でいいかな 〈はい〉。

じゃあ【人名1】で。

I: 【人名1】さん 〈はい〉。

じゃあ, わたし【人名1】さんです 〈{笑} はい〉, はい。

で, じゃあ, まあ, 帰ってきて 〈はい〉, じゃ, あのー, まあ, じゃあ, 街で会って 〈はい〉, ちょっと【人名1】さんと話す 〈はい〉。

はい。じゃあいきます。

T: あ一, 【I】君, 元気?。

I: お一, 【人名1】 〈うん〉, 何やってんの今?。

K018

- T : えっ、今。
ちょっと人待ってるんだけど〈うん〉。
あれ、でも、さっきさー、なんかー、あれ、今日、バイトで、なんかー、漫画家のうち行くって言ってなかった？。
- I : あー、いやいや、あれはもう終わったから。
- T : あっ、終わったのー？。
- I : はい。
もう帰り道で…
- T : どうだった？。
- I : んー、いやいや、うまくいったんだけど。
- T : おっ、さすがー〈うん〉。
へー、よかったねー〈あー、はい〉。
あー、***、バイトも結構順調みたいで、ねー。
- I : そうだよ、はい。
- T : これからどうするの？。
- I : いやー、ちょっと、なんか、友達と飲みに行くんだけど。
- T : あー、ほんと。
- I : 【人名1】も、来ないの？。
- T : んー、もう30分待ってるから、じゃ、わたしも行っちゃおうかなー。
- I : うん、じゃあ来て。
- T : うん、あ〈うん〉、ありがとう。
じゃあ、行きます。
- I : で、友達が来たら〈うん〉メールしたらいいんじゃない？。
- T : あっ、そうそう〈うん〉、そうね〈はい〉。
ありがとー。
あっ、はい〈はい〉。
あっ、どうもありがとうございました。
え、今日はこのあと何かご予定は？。
なにか、ゆっくり…
- I : いやー、なんもないすけど。
- T : あっ、そうですか〈はい〉。
わかりました。
ほんとにお忙しいところ…
- I : いえ、いえ、いえ。
- T : 今日はどうもありがとうございました。
これで終わります。
- I : はい。